

# はだの 議会だより

第226号

平成29年(2017年)11月19日(日)  
発行:秦野市議会 編集:議会報編集委員会  
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号 ☎0463-82-9652

秦野市議会

検索

## 主な内容

◆議案審議	1・7面
◆決算審査	2・3面
◆一般質問	4・5・6面
◆議会の動向	5面
◆陳情・意見書	7面
◆審議結果一覧表	8面
◆12月定例会日程	8面

## 9月定例会

# 平成28年度決算を認定

9月定例会は、9月5日から10月4日までの30日間の会期で開催されました。この定例会では、条例の一部改正、決算の認定、工事請負契約の締結など市長提出議案26件(うち、報告6件、陳情2件)のほか、委員会提出議案2件などを審議しました。



見頃を迎えたカルチャーパークバラ園の秋バラ

## 議案審議

(議案審議は7面にも掲載)

### 一層の消防力強化のため 消防署西分署を建て替え

#### 議案第50号 工事請負契約の締結について

#### ▼要旨

平成32年度に予定されている新東名高速道路開通に伴い、本市が新たに管轄する区間への対応などにより、一層の消防力の強化が必要となるため、拠点となる消防署西分署の建て替えを行うもの。

#### ▼付託委員会

総務常任委員会

#### ▼委員会での主な質疑・要望

**問** 建て替え工事の予定価格に占める落札価格の比率が98・65%とかなり高い結果となったが、公平公正な競争の確保という観点における、本市の考えはどのようなか。

**答** より多くの事業者が参加できるように、共同企業体の代表構成員について、県内に本店または受任地がある事業者であることを条件とした。また、落札決定するまで入札参加者数や事業者名を公表せずに入札した結果であり、一定の



新たな消防需要に対応する消防署西分署(完成イメージ)

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)

### 第64代議長に阿蘇佳一議員 第66代副議長に相原學議員が就任



阿蘇佳一議長



相原 學副議長

定例会開会日の9月5日に、川口薫議長、古木勝久副議長から辞職願が提出され、同日の本会議においてこれを許可し、それぞれ投票による選挙が行われました。その結果、阿蘇佳一議員(民政会)が第64代議長に、相原學議員(自民党・新政クラブ)が第66代副議長に就任しました。阿蘇佳一議員は、昭和23年生まれ。議長、監査委員などを歴任。相原學議員は、昭和22年生まれ。前総務常任委員会副委員長。

## 災害時等対策訓練を実施 ～災害時等行動マニュアルを初検証～



被害状況を地図上に記入するなど、実践的な訓練を実施

市議会では、8月26日(土)に初めて災害時等対策訓練を行いました。

4月1日に施行した「秦野市議会災害時等行動マニュアル」の実践と検証を目的とし、震度7の地震が発生したことを想定して、各自の動きを確認しました。

当日は、正・副議長と議会事務局職員がシェイクアウト訓練や災害等対策会議立ち上げ訓練を行うとともに、全議員が参加し、タブレット端末のメールを活用した、安否確認・情報提供訓練を行いました。

平成28年度各会計決算額

Table with 3 columns: 会計区分 (Accounting Category), 歳入 (Revenue), 歳出 (Expenditure). Rows include 一般会計, 水道事業会計, 公共下水道事業会計, 国民健康保険事業特別会計, 介護保険事業特別会計, 後期高齢者医療事業特別会計, and 計 (Total).

※平成27年度と比べると、歳入は5億8535万円の増(+0.6%)、歳出は21億1734万円の増(+2.4%)となりました。

平成28年度決算を 審査・認定

平成28年度の「一般会計決算」と「水道事業会計決算」、「公共下水道事業会計決算」、そして「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「後期高齢者医療事業」の認定についての各議案は、9月5日の本会議で、委員会条例を改正し、23人の委員で構成する予算決算常任委員会を設置、9月7日の本会議で同委員会に付託しました。

委員会では、9月12日に総括質疑と歳入の質疑、13日に総務分科会、14日に文教福祉分科会、15日に環境都市分科会をそれぞれ開催し、執行部に関係職員の出席を求め、慎重に審査しました。

(以下、質疑などの要旨を掲載)

総括質疑

市民力の実現や地域まちづくり拠点の整備への取り組みについて

市民との協働をはじめとした市民力の実績と、市民力を実践する拠点整備への支援は、どうか。

答 市民と行政の役割分担により事業を行う提案型協働事業を創設し、平成28年度は健康寿命を延ばす介護予防事業など、3件の事業を実施した。また、開放型自治会館などの拠点整備を支援した。

専門性の高い人材育成と職員の適正配置について

専門的な職員育成の取り組みはどうか。また、女性職員の管理職への登用や再任用職員の配置など、職員の適正配置はどうか。

答 専門性向上のため、外部研修や関係機関への派遣を続け、自身の強みを生かし、効果的に職務に取り組める仕組みの導入を検討している。また、女性職員だからこ

そ活躍できる場や再任用職員の知識・経験が生きる業務などに配慮し、適切な配置に努める。

地域と学校が連携した教育の取り組みと課題について

小中一貫教育を、今後どのように関連づけて進めるのか。また、教員の多忙化につながらないような支援体制が必要ではないか。

答 一貫教育という縦軸に学校運営や教育活動といった横軸が交わり、目指す子ども像・学校像を地域と共有し、一体的に取り組むことができた。また、支援組織の業務が逆に教育現場の多忙化を招く事例もあり、先行する西中学校などの取り組みを検証したい。

災害等の緊急時に備えた実践的な訓練について

防災意識を高めるため、※防災ゲームなど、実践的な防災訓練

が必要と考えるがどうか。

答 自治会などから依頼があれば、防災アドバイザーなどを派遣し実施しているが、今後は防災教育訓練のメニューに取り入れたい。

地域特産品の活用やじばさんずの拡充について

本市の農産物をさらにPRしていくために、ブランド化ができていくか。また、じばさんずの機能拡充を図るため移転し、食の発信拠点として展開してはどうか。

答 既存の認証制度だけでなく、秦野名水などの地域資源も活用し、地域間競争に乗り遅れないように全国にPRしたい。また、じばさんずの立地を生かし、地場産食材を用いたレストラン設置などにより、十分に拠点となると考える。

分婉体制の整備について

秦野赤十字病院の分婉再開に向けた取り組みはどうか。また、八木病院の移転にかかる取り組みと、分婉を継続している診療所への支援はどうか。

秦野赤十字病院の分婉再開については、県に派遣につながる寄附講座の開設支援を要請している。八木病院については平成34年の開設を柱とし、33年まで市有地を確保する予定である。また、市内で分婉を扱う診療所については、分婉手当の助成だけではない、新たな支援を検討する必要がある。

新東名高速道路や国道246号バイパスなどを生かした周辺整備について

国道246号バイパス活用には各高速道路間の接続が重要であるが、進捗はどうか。また、西の玄関口となる(仮称)秦野西インターチェンジの周辺整備はどうか。

答 国道246号バイパスの非事業化区間については、有志議員の支援もあり事業化を働きかけている。また、工業系用途地域において緑地面積率を緩和し、既に施設増設などを検討する企業もあり、本市西部地域の活性化に取り組み、滞納者の生活実態の把握と適正な

債権管理について

安易な不納欠損処分をせず、滞納者の生活実態をつかむべきである。児童手当から特別徴収すべきでないと考えるがどうか。

答 生活状況を考慮して執行しており、特別徴収も行っていない。

歳入の質疑

市民による公共施設の夜間管理の可能性について

公共施設の利用者が夜間管理をし、使用料が削減できないか。答 コスト減につながるが、超えるべきハードルがあると考え

総務分科会

政策部・市長公室 財務部・市民部 会計課・監査事務局 選挙管理委員会事務局 議会事務局・消防本部

西庁舎敷地拡張に伴う流用について

当初購入を予定した土地の隣接地を取得するため、土地交換による差額の支払いと、それに伴う補償費として約660万円を流用している。当初購入を予定した土地の隣接地が売りに出された時点で早期に購入を判断すべきであったと考えるがどうか。

答 購入のタイミングは当然重要であるが、相手があることであり、災害時のスペースや将来のことを見据えた上で、西庁舎の土地の形状がより良い形になるよう、補償費を支出しても購入する必要があると判断した。

ふるさと寄附金特産品贈呈事業について

魅力的な返礼品を数多く揃えることにより、市外から多くの寄附金を集めていることは評価しているが、市民が他自治体へふるさと寄附金をしていく状況はどうか。また、本市への寄附金を増やすための取り組みはどのようなか。

答 市外への寄附件数は、平成28年が2513件で27年の約2倍に増えている。今後の対応として、桜の縁で交流が深まっている静岡県河津町の海産物を加えることなど、の検討や、フェイスブックを活用した広報宣伝を引き続き行い、より多くの人に寄附をしてもらえよう努めたい。

急傾斜地崩壊防止対策について

急傾斜地崩壊防止対策工事が行われる前提として、急傾斜地崩壊危険区域の指定を受ける必要があるが、急傾斜地は市内に多くあることから、崖地周辺の危険

な実態をよく把握した上で、県との調整に努力してほしい。

消防団サポート制度について

消防団員と家族の福利厚生を充実することで入団を促進し、地域の活性化と地域消防力の強化を図るため、消防団サポート制度を平成28年10月から開始したが、協力する店舗のメ리트はどうか。

答 現在、協力店舗は80店舗だが、ホームページや広報誌などに店舗名を掲載することによる宣伝効果や、社会貢献という点でのイメージアップ、さらには、消防団員やその家族が実際に店舗を訪れることによる集客率の向上が大きなメ리트と考える。

消防署西分署整備事業について



敷地拡張を検討する市役所西庁舎

工事設計委託業務の執行率が予算額の約半分と低くなったが、実施設計の成果はどうか。

答 事業者は、他市の消防庁舎設計などの実績があり、本市が提示した仕様を十分に盛り込んだ実施設計となっている。

要望 建て替えに当たり、平成32年度から救急隊の増隊や機材などの充実を検討しているとのことだが、訓練や研修を十分に行い任務を遂行してほしい。

予算決算常任委員会

Table listing members of the Budget and Accounting Committee, including Chair, Vice-Chair, and various divisions like Environment, Education, and Finance.

【用語解説】 ※防災ゲーム：災害のさまざまな要素をゲームに取り込み、その疑似体験を通じてプレイヤー自らの災害対応・災害行動を学習・訓練するための防災シュミレーションゲームのこと

文教福祉会  
福祉部  
子ども健康部  
教育委員会

**子ども相談事業について**  
問 妊娠前から子育て期における悩みなど、複雑で多様化する子どもに関する平成28年度の相談件数は、27年度と比べ2千件近く増加したが、その対応状況はどうか。

答 養育と発達・性格行動に関する相談が特に増加しており、発達に課題を持つ子どもに対して、発達検査などを行っている。保護者の同意が得られれば、学校と協力し学習やコミュニケーション能力など、自らの力では解決できない課題をチームでサポートしている。  
**要望** 教育と福祉の連携が必要なる場合もあることから、専門性の高い研修に相談員を積極的に参加させることや、相談件数が増えても

環境都市会  
環境産業部  
建設部・都市部  
上下水道局  
農業委員会事務局

**騒音・振動防止対策について**

問 一つの事業所から発生した騒音が主な要因となり、平成28年度における騒音・振動苦情対応件数は27年度より大幅に増加しているが、騒音の場合、継続して測定することが重要であり、一定の期間連続測定できるシステムの構築が必要と考えるが、どうか。

答 騒音に限らず、公害の発生はケースごとに異なるため、まずは現状を確認し、それに適した指導方法を検討している。継続して測定することも必要に応じて行う可能性はあるが、市内の各事業所には規制基準の順守と周辺住民への配慮を強く要請していきたい。

質の高い相談体制を維持するため、相談員の増員も検討してほしい。  
**ペットの防災マニュアルの改定について**  
**要望** ペットのいる家庭が多くなり、災害時の重要な課題であることから、平成25年度に策定された「ペットの防災マニュアル」を市獣医師会や動物愛護ボランティア団体など関係機関の意見を取り入れた、より具体的な防災マニュアルとして改定してほしい。

**老人いこいの家の管理運営について**  
**要望** 平成28年度に、高齢者福祉施設としての機能を継承しながら自治会館として利用するため、老人いこいの家すずはり荘の建物を鈴張町自治会に無償譲渡したが、自治会加入率が下がっている中、建物の修繕費用は深刻な問題になると考えられるため、施設の運営に対してさまざまな支援をしてほしい。  
**教育指導助手派遣事業について**  
問 学習における基本的事項の理

解や生活指導による基本的生活習慣の形成などを支援するため、教育指導助手を派遣したとのことだが、その効果はどうか。  
**答** 学校には教職員の多忙化など、多くの課題が山積しているが、子ども一人一人と向き合いながら寄り添い、きめ細やかな支援をすることで、個々に応じた適切な教育的対応などが可能となった。  
**要望** この事業は、いじめ・不登校対策としても有効であり、教職員の多忙化解消の役割も担っている。市の単独事業であるため、国や県に予算上の支援について要望を行いながら、引き続き事業の推進を図ってほしい。  
**西中学校体育館等複合施設整備について**  
**要望** 地域交流の拠点機能を持つ多機能型体育館として整備するにあたり、平成28年度に施設の規模や配置、機能などについて整備構想の策定を行い、29年度は基本設計を進めるとのことだが、学校教

**個人井戸の水質検査にかかる費用の助成について**  
**要望** 地下水保全条例に基づく、個人井戸の届け出件数は879件あるとのことだが、災害時に飲料水として活用することができるよう、現在、個人で負担している水質検査にかかる費用について、助成する制度を検討してほしい。  
**秦野落花生生産支援事業について**  
**意見** 平成28年度の落花生収穫量は25年度と比較すると約2割減少しているとのことだが、人気がある「うでピー」などの加工品をメーンに、秦野の落花生を広くPRすることでブランド化を図り、生産性の維持・向上につながるような検討をすべきである。

**「農」の担い手育成支援事業について**  
**要望** 新規青年就農者を対象に就農直後の経営安定に向けた支援をするため、青年就農給付金制度を設けているが、近隣の農業高校や

育や地域交流で相互利用する際に支障がないよう、機能性と安全性を兼ね備えた設計してほしい。  
**また、自然環境に配慮した太陽光発電設備の設置も検討してほしい。教職員のストレスチェックの在り方について**  
**要望** 教職員の心的健康を保持するため、自己診断評価を教職員間で共有し、児童・生徒に対する対応に反映することが重要であり、それがストレス軽減につながることを考える。新たなストレスチェック方法を検討してほしい。

**分譲マンションを対象とした耐震化への補助制度を創設しているが、旧耐震基準で建築された分譲マンションの棟数と補助制度を**

ホームページなどで周知するだけでなく、小田急線の車内モニターも活用し周知を図ってほしい。  
**はだの桜みちの桜の樹木診断について**  
問 平成28年6月に市道623号線沿いの水無川緑地の桜が、腐朽菌が原因で倒木したことにより、はだの桜みちがある市道23号線の桜の樹木診断を実施したとのことだが、その結果と今後の対応はどうか。  
**答** 樹木診断の結果、倒木の危険性が高いと診断されたものが27本あった。この結果を受け、29年度は8本、残りの19本は30年度以降に伐採を行い、併せて、根の除去と歩道改修を行っていく。  
**建築物耐震改修等補助事業について**

利用して耐震診断が行なわれた実績はどうか。  
**答** 旧耐震基準で建築された分譲マンションは24棟あり、現在までに3棟が補助制度を利用し、現在1棟に対して補助を行っている。  
**要望** 分譲マンションは共有の建物であることから、所有者の合意形成などに時間を要するが、耐震化が済んでいない戸建の木造住宅も含めて、引き続き耐震化に向けた努力をしてほしい。



落花生のブランド化を図り、生産増を



地元自治会に無償譲渡された老人いこいの家すずはり荘

討 論

**▼本会議での反対討論**  
市役所西庁舎敷地拡張に当たり、土地購入が遅れ不要な支出が発生したこと、また、市税滞納者の生命保険を差し押さえていること、自然環境や地域を分断する新東名高速道路関連事業を進めていることなどから、反対する。  
**▼本会議での賛成討論**  
自主財源の要である市税収入、とりわけ個人市民税は4年連続の減となるなど、生産年齢人口の減少が明確に表れ、本市の担税力はさらに低下しており、財政調整基金の取り崩しなどでのしのぎ厳しい1年となった。  
このような中でも、専門部署を設置し収入未済額や不納欠損額を減らし、借入れを最小限にとどめ、決算時点のプライマリーバランスの黒字を維持しながらも、公共施設再配置計画や鶴巻温泉駅南口整備、カルチャーパーク再編整備に、満床となった定住化促進住宅「ミライエ秦野」など、将来世代を見据えた事業を両立し展開していることを評価する。  
これ以外にも、小児医療費助成対象者の拡大や桜と山を効果的につなげたシティプロモーション、ふるさと寄附金制度による本市の知名度向上など、さまざまな施策を進めたが、限られた財源を集中投資するためには事業を選別することも重要であり、また、道路などの社会インフラの更新計画など、着しづら事業への積極的な投資も必要である。  
本市にとって新東名高速道路が開通する重要な年である平成32年度が目前に迫る中、同年に開催されるオリパラを契機とした森づくりなど、時代を見据えた市政運営を期待する。

**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)

水道事業会計

**設備の見直しと黒字経営を維持することについて**  
問 設備における※最大稼働率と※施設利用率については、類似団体と比較して低い数値であり、設備が過剰であると考えがどうか。  
**答** 設備の見直しについては、施設の重要度や地震によるリスクなどを考慮した上で施設の効率化や統廃合を図る。また、今後、配水管網の見直しを進め、施設規模の適正化に努めていく。  
**要望** 水道料金を上げずに黒字経営を維持できるように、努力を続けたい。  
**▼本会議での反対討論**  
家事用と事業用の水道料金値上げ幅が異なること、消費税を賦課していることなどから、反対する。  
**▼本会議での賛成討論**  
県内広域水道企業団の経営状況に踏み込み、県水受水費が適正であるか検証すべきである。  
**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)

**公共下水道事業会計**  
**経営状態を示す営業収支比率について**  
問 営業活動の効率を示す営業収支比率が、全国平均と比較し非常に低い。公共料金を値上げしても、市民の利益が増した印象はないが、今後、どのような対策を考えるか。  
**答** 平成29年4月に公共下水道使用料を値上げし、経営の健全性は高いと監査委員から評価を得たが、自前の処理場を有し、負債の企業債現在高が約349億円あることなどから、公共下水道事業計画に従い、経営を進めるべきと考えている。  
**▼本会議での反対討論**  
消費税を課税し、生活保護受給世帯にも公共下水道使用料を賦課

していることなどから、反対する。  
**▼本会議での賛成討論**  
浄化槽管理の権限移譲を受け、計画に即した水洗化率を目指すべきであるが、全体として賛成する。  
**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)  
**国民健康保険事業 特別会計**  
**▼本会議での反対討論**  
医療受診を妨げる資格証明書を発行し続けており、反対する。  
**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)  
**介護保険事業 特別会計**  
**地域支え合い型認定ドライバー養成研修について**  
問 公共交通機関を利用することが困難な高齢者などに対し、無償で移動支援を担う認定ドライバー養成研修を初めて開催したが、概要はどうか。  
**答** 福祉的視点での運転方法や各地域で実施している活動を紹介し、新たな送迎サービスの担い手創出につながる講座を開催した。  
**要望** 地域で高齢者を支えることは介護予防に有効であり、今後も多くの担い手を創出してほしい。  
**▼本会議での反対討論**  
生活援助サービスを自己負担とすることは認められず、反対する。  
**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)  
**後期高齢者医療事業 特別会計**  
**▼本会議での反対討論**  
高齢者に重い負担を求める現行制度を廃止し、老人保険制度に戻すべきであるため、反対する。  
**▼採決の結果**  
委員会 認 定(賛成多数)  
本会議 認 定(賛成多数)

【用語解説】 ※最大稼働率：最大給水率の割合を示す指標。1日最大配水量÷1日排水能力×100で算出される。  
※施設利用率：1日に平均してどの程度施設が効率的に運営されているかを示す指標。1日平均排水量÷1日排水能力×100で算出される。

# 一般質問



一般質問は、9月26日、27日の2日間、14人の議員によって行われました。質問は、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。一般質問は、5面・6面にも掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)

## 実際の選挙を活用して

### 生きた授業を



創案クラブ 加藤 剛

**一 主権者教育について**  
 問 平成30年1月には市長選挙が行われる。実際の公約が記載された選挙広報などを用いて授業を行えば、その後の主権者教育に良い影響をもたらす続けると考えるが、取り入れていく考えはあるか。  
 答 授業で実際の公約を扱うことは、政治への関心を高め、自分たちが暮らすまちの今後を考える良い機会となるため、教材として活用されるよう働きかけた。  
**要望** 子ども議会が再び注目を集めている。その開催も含めて、生きた授業を展開してほしい。



## 黄色いハンカチより、まず集まることが大切だ

無所属 吉村 慶一

**一 安否確認用「黄色いハンカチ」等の欠点について**  
 問 「我が家は大丈夫、他の人を助けて」という意思表示として、地震発生時に使用される黄色いハンカチを市は推奨している。だがそれは人々が「我が家は大丈夫、集まって他の人を助けよう」とい



黄色いハンカチの弊害をふまえた周知を

う気持ちもなくす原因となり、防災力の低下を招くと思うがどうか。  
 答 黄色いハンカチを掲げた後は、地域の自主防災活動に参加しなくてよいと誤解している人もいるようだが、掲げた後は一時避難場所に集合し、安否確認、救助活動などに参加することを、再度確認する必要がありますと考えている。  
**問** 黄色いハンカチを確認してまわる役を担った人が、不在だったり被災した場合には、この制度は機能しない。また大きな地震が続けて起きた場合、ハンカチを掲げた後に被災することも考えられる。黄色いハンカチには弊害が多い。市が主導して、この制度を採用している自主防災会に対し、やめるよう説得すべきと思うがどうか。  
 答 自治会の組長など、特定の人

## 魅力ある学校づくりに取り組むとともに 地域活性化に努めよ



創案クラブ 谷 和雄

**一 特色ある学校づくりについて**  
 問 以前から一般質問などで、上小学校を中心とする上地区活性化を取り上げてきたが、上小学校の児童数は現在70人まで減少している。統廃合の考えはあるのか。  
 答 地域と共にある学校の果たす役割は大切に統廃合の考えはない。  
**問** 上地区は今後、児童数増加が見込まれない中、学区外から上小学校に通学可能な小規模特認校制度を導入する考えはあるのか。  
 答 上小学校ならではの特色ある学校づくりについて課題整理し、導入に向け、学校と協議を進める。  
**要望** 地元も共に考え協力する中で、制度導入に向け、早急に取り組んでほしい。



生きた主権者教育を (写真は平成27年度「子ども議会」の様子)

**二 農業の活性化について**  
 問 本市の産物の核である農業は、農業従事者不足が生じ、荒廃地が広がり、鳥獣被害が増加するなど負の連鎖の中、農の担い手の育成と支援の状況はどのようか。  
 答 農業塾を開講し育成に努め、就農者に交付金を交付している。  
**要望** 農地確保や鳥獣被害対策に



## 次世代へつなげる責任ある未来を

緑水クラブ 横溝 泰世

**一 現下におけるリーダーシップの理想像について**  
 問 古谷市長は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和という崇高な目標をもって、市長就任直後に世界の自治体で構成する「平和首長会議」に加入され、市民憲章や平和都市宣言を具体にすべく「秦野市平和の日」を制定された。「平和なくして福祉なし」「福祉なくして市民生活の安定なし」を基本に、「市民が主役のまちづくり」を標榜し、ハード・ソフト両面において

だけが安否確認する制度ではないこと、必ず集まること、続けて地震が起る場合を想定した取り決めのすることなどを、自主防災会に周知徹底したい。  
**問** 人命に関わることであり、「広報はだの」を使って周知徹底してほしいがどうか。  
 答 よく検討したい。



上小学校ならではの特色ある学校づくりを

**三 特定外来生物の対策について**  
 問 本市にも特定外来生物がいるが、直接人体に影響を与えるヒアリの対策はどのようか。  
 答 本市でヒアリと確認された個体はないが、関係省庁や県と連携し、対策に取り組んでいく。  
**要望** 市民への正しい情報発信とともに、対策に努めてほしい。



自民・新政 高橋 照雄



生産緑地を活用し積極的なまちづくりを

## さらなる30年を見据えた 生産緑地の検討を

## 開催しました 夏休み子ども議場見学会

議会への親しみをもってもらうため、8月19日(土)に2回目となる夏休み子ども議場見学会を開催しました。小学3年生から6年生の児童と保護者9組20人が参加し、正・副議長との名刺交換や、議長役と議員役に分かれて本会議などを体験し、最後に修了証の授与と記念撮影をしました。参加者からは、「議長や副議長、議員の仕事も知ることができ、緊張したけど、とても楽しかった」、「本当の議会を見てみたいくなりました」などの感想が聞かれました。



「みどり豊かな暮らしよい都市」の実現へ

**二 女性管理職の登用にについて**  
 問 政策の推進をリードする役割の管理職には、女性と男性の双方の視点が必要であり、女性管理職の育成や登用には、計画的かつ積極的な取り組みが必要と思うが、取り組みはどのようか。  
 答 人材育成の基本的な方針である職員(ひと)づくり基本方針や女性職員の活躍を推進するための特定事業主行動計画において、女性職員の登用を主要な取り組みの一つと位置付け、推進している。  
**要望** 女性職員が能力を一層発揮できるような環境づくりを進め、管理職への登用をお願いしたい。

会派の表記について …「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。

(用語解説) ※クラウド化…自社内に設置し運用しているシステムを、専門の事業者が提供するクラウド上に移行し、運用すること。



### 丹沢の魅力の掘り起こしと 発信が秦野の活性化の源に

創奏クラブ 村上 茂

**一 丹沢を核とした地域活性化について**  
 丹沢山地の麓にある本市の、丹沢の魅力を生かしたプロモーションはどのようか。

**答** 平成29年8月に山の専門誌と連携したTANZAWA山モリ!フェスを秦野で開催し、これらの情報発信に努めてきた。インターネット検索サイトでは秦野の情報がトップのほうに表示されるなど、本市の知名度向上を図っている。

**二 秦野SA(仮称)スマートICを活かした周辺土地利用構想の推進について**  
 平成26年度に策定されたこの構想は、28年度から32年度の総合計画後期基本計画のリーディングプロジェクトにも位置づけられている。この構想にある①産業利用促進ゾーン、②地域振興・ふれあい交流ゾーン、③農業生産ゾーンの進捗はどのようか。

**答** ①平成28年11月、第7回線引



丹沢の魅力を広く発信したTANZAWA山モリ!フェス



### 鶴巻排水機場を 地域の歴史的遺産に

自民・新政 今井 実

**一 鶴巻排水機場の活用について**  
 鶴巻地区の市政懇談会において、鶴巻排水機場を観光資源として有効に活用することなど、鶴巻排水機場やその周辺に関連する質問がされたが、現在の状況はどのようか。

**答** 大根川ポンプ場が本格稼動したことに伴い、鶴巻排水機場は平成24年度末に排水機能を停止している。現在、建物は資材などを保管するためのスペースとして活用し、敷地内の草刈りなどは地域住民の協力をいただきながら、維持管理を行っている。

**二 おもてなしに十分配慮された観光の推進について**  
 本市には貴重な財産が多く



### 表丹沢野外活動センターの稼働率向上を

民 政 会 八尋 伸二

**一 表丹沢野外活動センターの稼働率向上について**  
 表丹沢野外活動センターは、再整備から累計で、どの程度の費用が投じられているのか。

**答** 平成19年7月のオープンから、既存建物の解体のほか、研修棟、活動棟の設置工事、また、風呂棟やいろいろ棟、現在建設中の森林遊び場(仮称)の第1期工事など、総額約10億7100万円となる。そのうち、国・県からの補助金は約4億2400万円となる。

**二 稼働率向上に向けて、あらゆる**



### 秦野名水の名を上げよ

公 明 党 横山 むらさき

**一 子どものアレルギー疾患対策について**  
 アレルギー疾患が市民の生活の質を妨げている状況に対し、基本指針に沿ったアレルギー疾患対策を「健康はだの21」に位置付けるべきである。乳幼児のアレルギー疾患の医療情報の提供や、相談窓口における対応はどのようか。

**答** 子どものアレルギー疾患対策

**二 秦野版SDGsについて**  
 ①東京五輪開催年に迎える本市の植樹祭準備は、②市民の※水リテラシーを高めるため、おいしい秦野の水を通じ、水問題を考える一日名水大学の実施や国際貢献の仕組みづくりは、どのようか。

**答** ①植樹祭の時期や場所は未定だが、苗づくりを小・中学校の協力で進めたい。②市民参加の機会を検討したいが、おいしい秦野の水を通じた国際貢献は、水道利用者の理解を得なければ難しい。

**三 商店街活性化について**  
 エスカレーターが設置された東海大学近道商店街は、学生による経済効果はなく、店舗撤退が続いているが、商店街の将来像をどう考えるか。

**答** 東海大学と連携し、学生のまちとしての地域特性を生かした商店街活性化を商店街と共に考えていきたい。



地域の歴史が体感できるような鶴巻排水機場の活用を



閑散期の有効活用を(写真は表丹沢野外活動センター)



### 経済活性化のため秦野産材を使用しない住宅リフォームの助成制度を復活せよ

日本共産党 佐藤 文昭

**一 福祉施策について**  
 自殺や児童虐待が増加する中、産後鬱の予防や早期発見の体制と虐待防止の取り組みはどのようか。

**答** 産後鬱を予防し、早期発見するため、母子健康手帳交付時に母子コーデイナーや保健師と妊婦が顔の見える関係を築き、安心して妊娠期を過ごせるよう支援している。虐待防止の取り組みについては、乳児家庭を民生委員が全戸訪問し、育児不安軽減、孤立防止を目的に実施した。

**二 教育施策について**  
 綾瀬市での中学3年生自殺事件を受け、本市の学校で子どもたちが命の大切さを学ぶための具体的な取り組みはどのようか。

**答** 子どもたちが自分らしく生きること、命を大切にすることは、道徳の時間など、教育活動全体の中で学んでいる。命の大切さを学んで心情を育むことが最大の未然防止になるため、命を大切にす

**三 経済振興施策について**  
 本市は、平成25年度から3年間、秦野産材を使用しないリフォームに対しても、快適な住まいづくり補助金を交付した。不景気で消費が落ち込む中、経済活性化のため、補助額の約12倍の経済波及効果があった補助金を復活すべきと考えるがどうか。

**答** 経済活性化に一定の効果があったため、今後も秦野産材に特化した補助制度を進めていく。



おいしい秦野の水を通じた国際貢献を

**産後鬱に陥らないよう顔の見える支援を**



### 議会の動向

- 8月
  - 17日(木) ●代表者会議 ●議員連絡会 ●議員研修会 ●議会運営委員会
  - 26日(土) ●災害時等対策訓練
  - 29日(火) ●議案送付
- 9月
  - 1日(金) ●議会運営委員会 【傍聴者数2人】
  - 5日(火) ●市議会第3回定例会開会 【傍聴者数6人】
  - 代表者会議 ●議会運営委員会
  - 6日(水) ●代表者会議
  - 7日(木) ●議会運営委員会 【傍聴者数2人】
  - 本会議(議案審議)
  - 総務常任委員会(初委員会)
  - 文教福祉常任委員会(初委員会)
  - 環境都市常任委員会(初委員会)
  - 議会運営委員会
  - 予算決算常任委員会(初委員会)
  - 代表者会議
  - 12日(火) ●予算決算常任委員会(総括質疑、歳入の質疑) 【傍聴者数8人】
  - 13日(水) ●予算決算常任委員会(総務分科会) 【傍聴者数14人】
  - 14日(木) ●予算決算常任委員会(文教福祉分科会) 【傍聴者数1人】
  - 15日(金) ●予算決算常任委員会(環境都市分科会) 【傍聴者数1人】
  - 20日(水) ●議会運営委員会 【傍聴者数1人】
  - 総務常任委員会(総務分科会) 【傍聴者数1人】
  - 文教福祉常任委員会(文教福祉分科会) 【傍聴者数1人】
  - 環境都市常任委員会(環境都市分科会) 【傍聴者数1人】
  - 追加議案送付
  - 26日(火) ●本会議(一般質問) 【傍聴者数22人】
  - 代表者会議 ●議会運営委員会 ●追加議案送付
  - 27日(水) ●本会議(一般質問) 【傍聴者数60人】
  - 29日(金) ●本会議(議案審議) ●追加議案送付
- 10月
  - 4日(水) ●議会運営委員会 【傍聴者数1人】
  - 予算決算常任委員会閉会
  - 市議会第3回定例会閉会 【傍聴者数2人】
  - 議会運営委員会 ●議会報編集委員会
  - 5日(木) ●秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第3回定例会 【傍聴者数3人】
  - 16日(月) ●代表者会議 ●議員連絡会 ●議会運営委員会
- 11月
  - 7日(火) ●議会運営委員会
  - 13日(月) ●代表者会議 ●議員連絡会 ●議会運営委員会 ●議会報編集委員会
  - 17日(金) ●議案送付

【用語解説】 ※一般保留フレーム…市街地調整区域内に市街地区域の編入を保留する区域などを設定し、計画的な市街地整備が確実に進んだ時点で、随時、市街地区域に編入する「保留制度」のうち、区域を特定せず、人口などの枠(フレーム)を示し、設定するもの。  
 ※SDGs…「持続可能な開発目標」のことで、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標のこと。  
 ※水リテラシー…より安全な水の確保や災害リスク削減への貢献を目的とした、水資源の利用および管理に関する多面的な知識のこと。

一般質問 (4面・5面にも掲載)



民政会 古木 勝久

南地区の臭気問題、9年目に終止符を



臭気への科学的なアプローチを(南地区の遠望)

一 南地区臭気対策について

問 依然として、臭気問題は改善していない。今も関連自治会の課題の一つになっている。しかし2年近く、今泉堆肥利用組合、自治会、行政との意見交換会が行われていない。情報の共有化と問題解決のために、意見交換会の開催が必要であると思うがどうか。

答 臭気軽減に向けた前向きな話し合いができるような状況が見込まれるのであれば、良好な関係を構築できるような働きかけたい。

問 金井場配水場付近では、2年ほど前から大量のハエが発生しているが、愛川町から搬入される原料の発酵堆肥の一時置き場が発生源ではないか。また、現在の臭気源が強い状態での持ち込みではなく、発酵が進み臭気が収まった堆肥でも品質が維持できるかなど、専門的な視点からの原因究明と対策が必要と考えるがどうか。

答 ハエの発生源は特定できていないが、発酵堆肥の製造過程も含め、平成29年度から30年度にかけて、神奈川県が臭気軽減に向けた調査・研究のための臭気対策プロジェクトチームを編成するため、市も参画し、科学的側面からの調査・研究に取り組む。

意見 この臭気問題は、足かけ9年も費やされている。臭気対策については、原因者の話だけで対応してきた経緯がある。第三者機関を入れて、早急に問題解決のための対策を講じていくべきである。



公明党 山下 博己

生ごみ処理器キエーロのさらなる普及促進を

一 生ごみ処理器キエーロの普及促進について

問 平成29年第2回定例会の一般質問で、ごみ減量問題は最重要課題であることを踏まえ、最もごみ減量に効果が期待できる生ごみ処理器キエーロの普及促進を訴えたが、その後の状況はどうか。

答 広報はだの特集号やホームページ、タウン情報誌などの媒体を通じたPRや商工まつりなどでの展示や出前講座での啓発を進める中、興味を持たれる方が多いことから、キエーロを西庁舎前や各公

民館に設置し、実際に生ごみを投入し実演展示も行っている。

問 前回の一般質問では、キエーロの供給体制の確立が課題であったが、その後の状況はどうか。

答 NPO法人四十八瀬川自然村の協力により、キエーロ1台を消費税・送料込みの8千円で生産できる体制が整ったため、供給体制は十分であると考えている。

問 生ごみ減量は、ごみ処理コストの削減に大きくつながる。今後補助金支給率をさらに上げるなど、早期に市民の協力が得られる環境づくりが必要と考えるがどうか。



緑水クラブ 木村 真澄

大災害に備えて 自分の命は自分で守る対策を

一 災害対策について

問 家具転倒防止など自分の命を守るための対策が重要である。市民に対する周知はどうか。また、多くの人が集まる大型の商業施設にセーフティゾーンを設ける必要があると考えるがどうか。

啓発するとともに、自治会を通じて市民へ周知していく。また、セーフティゾーンについては、大型店舗連絡協議会と協定を締結していることから、協議の場において設置について依頼していく。



日本共産党 露木 順三

市長は国保の被保険者証の取り上げをやめ、市民の命と暮らしを守れ

一 防災・減災施策について

問 平成29年7月5日の九州北部豪雨は死者・行方不明者41名であった。本市では、危険箇所などを掲載したみんなで作る防災マップを土砂災害警戒区域にある131自治会中14自治会しか作成しておらず早急な対策が必要だがどうか。

早急に防災マップ作成の働きかけを

答 地域の災害特性を考慮した作成方法の柔軟な対応により、防災マップづくりの働きかけを強める。

二 国民健康保険施策について

問 平成28年度末、滞納世帯の被保険者証取り上げ数は1948人で、そのうち病院で10割払わなければならない資格証明書は385人である。要綱に滞納世帯の所得状況や実態調査により、医療機関で10割医療費が払えないと認められる場合、被保険者証返還請求や資格証明書の交付を行わないとあり、貧困状態の市民には生活保護や福祉につながるべきだがどうか。

答 納税相談の内容により、福祉施策につないだ件数は年に1件あり、福祉部内だけでなくあらゆる部門で連携し、支援していきたい。

三 洗沢丘陵霊園建設について

問 墓地等経営許可申請は平成26年10月3日に許可されたが55筆のうち一筆だけが許可と同時に所有権移転がされなかったのは契約書の土地所有者が違っていたからで本市の確認が不十分だったのではないかと。二つの土地売買契約を経て所有権が移転されており審査手続きの中でしっかりと状況確認している。



キエーロの普及によりごみ減量の実現を(議員有志によりキエーロを制作・設置)

議会役職等構成一覧

(◎委員長 ○副委員長) 平成29年10月5日現在

Table with columns for position (議長, 副議長, 総務, etc.) and names of council members.



災害に備えた対策を(写真は平成29年度防災訓練(避難所訓練))

秦野曾屋高校で出前講座を開催

～高校生270人が「選挙と議会のしくみ」について学習～

10月19日(木)に、選挙管理委員会事務局と議会事務局の職員が県立秦野曾屋高校に出向き、3年生の生徒270人に「選挙と議会のしくみ」について講義しました。

議会のしくみ、聞いてみませんか?

議会事務局では、市民の皆さんの疑問にお答えするため、出前講座を実施しています。学校の授業、自治会や職場の研修会などを開催するときに、議会のしくみを学んでみませんか。議会事務局までお問い合わせください。



秦野曾屋高校での出前講座の様子

【用語解説】 ※フードバンク…食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設などへ無料で提供すること。

# 議案審議

(議案審議は  
1面にも掲載)

### 監査委員に田中氏・小菅議員を選任 教育委員会委員に高橋氏を再任 固定資産評価審査委員会委員に染谷氏を再任

議案第55号・59号 秦野市監査委員の選任について

▼要旨

井上文男委員が平成29年9月30日に任期満了、諸星光議員が平成29年10月3日に辞職したため、井上委員の後任に田中紀光氏、諸星委員の後任に小菅基司議員をそれぞれ選任するもの。

田中氏は昭和45年生まれ。現在、弁護士法人小田原三の丸法律事務所勤務。

小菅議員は昭和40年生まれ。現在、市議会議員4期目。

▼採決の結果  
本会議 同意(賛成全員)

議案第56号 秦野市教育委員会の委員の選任について

### 浮世絵常設展示のためなどの 補正予算を可決

議案第51号 平成29年度秦野市一般会計補正予算(第3号)を定めることについて

▼要旨

歳入歳出それぞれ6946万7千円を追加するもの。

▼付託委員会



図書館内はだの浮世絵ギャラリーの様子

▼要旨

高橋昭江委員の任期が平成29年9月30日に満了するので、同委員を再任するもの。

高橋氏は昭和24年生まれ。平成20年から現職。

▼採決の結果  
本会議 同意(賛成全員)

議案第57号 秦野市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

▼要旨

染谷武彦委員の任期が平成29年9月30日に満了するので、同委員を再任するもの。

染谷氏は、昭和26年生まれ。平成29年から現職。

▼採決の結果  
本会議 同意(賛成全員)

予算決算常任委員会  
▼委員会での主な質疑など  
(総務分科会)

消防団車庫待機室整備における自家発電の設置に配慮した設計について

▼要旨

災害時の拠点となる施設であることから、ポータブル式の発電機では応急的な復旧にとどまるため、拠点機能として自家発電設備を設置してほしい。

(文教福祉分科会)  
浮世絵常設展示における学芸員の配置について

問 浮世絵は紫外線に弱く、管理保管や展示方法などにも高度の専門性が求められる。浮世絵を最大限活用するためには、学芸員の配置が必要と考えるがどうか。

# 陳情・意見書

### 全ての薬害肝炎被害者に安心した生活を 薬害肝炎被害者の早期救済を求める意見書を提出

平29陳情第22号 薬害肝炎救済法の延長等を求める陳情

▼願意

薬害肝炎救済法の請求期限が平成30年1月15日に迫る中、カルテなどの調査が進まず、請求が見込めないことから、①給付金請求期限を延長すること、②症状が悪化した場合の請求期限を撤廃すること、③慢性C型肝炎を介して劇症肝炎で死亡した場合も救済すること、④特定血液製剤以外の血液製剤によるC型肝炎感染も救済することについて国に意見書を提出してほしい。



新たな大山参りルートの検証へ(実証運行事業者は神奈川中央交通西(株))

答 必要性は認識しており、長期的な視点で検討していきたい。

(環境都市分科会)  
鶴巻温泉駅と大山ケーブル駅をつなぐバスの実証運行について

▼要旨  
成功させるためには財政投資を惜しまず、大山参りを体感できる仕掛けを工夫してほしい。

▼本会議での賛成討論  
名水はだの富士見の湯と鶴巻温泉の利用客が競合し、実証運行に支障のないよう取り組んでほしい。

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼付託委員会

文教福祉常任委員会  
▼委員会での審査状況

委員会としては、「特定血液製剤以外の製剤も法の対象とすることについて、国の見解は示されていないが、投与の時期を問わず一律に救済しなければならぬ」という法の趣旨や救済が進まない現状を踏まえ、全ての被害者の救済に向けて、国は努力すべきである。」との意見の一致を見た。

▼採決の結果  
委員会 趣旨採択(賛成全員)  
本会議 趣旨採択(賛成全員)

委員会提出議案第3号 薬害肝炎被害者の早期救済を求める意見書の提出について

▼要旨

法で定める請求期限までにカルテなどの調査が進まず請求に至らないため、給付金の請求期限を延長することや症状が悪化した場合の追加給付金の請求期限を撤廃することなど、全ての薬害肝炎被害者の救済につながる措置を講じるよう、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)

継続審査となった陳情  
平29陳情第25号 今泉堆肥利用組合の堆肥化施設の運用を開設当初の攪拌機1台、外部からの混合物の割合を自らの糞を超えない量とすることを市長へ要請する陳情

配付に留めた陳情  
平29陳情第23号 今泉堆肥利用組合の堆肥化施設の運用に環境産業部長、農産課長らが不正に歴代にわたり関与しているため秦野市長の任命責任を問う陳情  
平29陳情第24号 今泉堆肥利用組合の堆肥化施設の運用に環境産業部長、農産課長らが歴代にわたり不正に関与しているため行政の説明責任を問う陳情

## ギカイのギモン

### ～一般質問って、なんだろう？

意外と知らない議会の様子、今回は「一般質問」について、丹沢はだの三兄弟のSNSでのやりとりからご紹介します。



ニュースとかでたまに聞く、「一般質問」ってなんだろう？



へ～★市役所がやっていることならなんでも聞けるんだね！



じゃあ、疑問があったら、たくさん質問すれば、いろんなことが聞けるね！

本会議は、当日の受付だけで傍聴できます。本会議場ならではの雰囲気や、ぜひ一度体験してみてください。



定員は62名(車いす席2席含)です



そうなんだ～！録画中継見てみたけど、結構白熱してて、臨場感あるね！今度、生で見たくなってきたかも…♡

議員が市政の中で感じる様々な疑問を自由に聞いたり、市民の様々な意見を反映させたりするために行うのが「一般質問」だよ★

教育や福祉、防災やまちづくりのことなど、今回の9月定例会では14人の議員が質問してるよ！過去の一般質問も録画で見れるよ！

インターネットで本会議中継が見れます  
秦野市議会ホームページでは、会期日程や議員紹介、審議結果や過去の会議録など、さまざまな情報を発信しています。



詳しくはココ↑

いやいや！議員は24人いるんだから、できるだけみんなが質問できるようにしないと！だから、質問時間は質問と答弁合わせて60分って決まってるんだって！



議場は議員と市役所職員が対面する形につくられています

〈9月定例会の審議結果一覧表〉

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

Table with columns for proposal number, title, decision result, and voting members from various parties (Liberal, Democratic, etc.).

表紙写真を募集します! テーマ: 秦野の風景、地域や学校の行事など. Includes details on submission methods and contact information.

12月定例会日程. Lists dates and times for council meetings, including sessions for budget review and committee reports.

編集後記. A short note from the editor reflecting on the council session and the quality of discussions.